

施策評価シート

評価年度	平成24年度	事業実施年度	平成23年度	施策主管次長名	健康福祉部次長 伊藤 欽治
施策番号	55	施策名	みんなで助け合える福祉のまち		
関係課名	福祉課、高齢福祉課				

1. 施策の概要

施策の目的	対象	対象指標名		単位	H22実績	H23実績	H24計画	H25見込	H26見込	H27見込
		・市民 ・障がい者 ・高齢者	人口	人	58,216	58,762	60,600	61,400	62,500	63,700
意 図	障がい者や高齢者に安心して、住み慣れた地域で、支えあう生活をしてもらう。	障がい者の数	人	1,704	1,789	1,845	1,869	1,903	1,939	
		高齢者の数	人	7,889	8,290	8,800	9,100	9,400	9,700	
		成果指標名	ボランティア登録者数							
		成果指標名	市内の障がい者施設利用者数							
成果指標名	自立支援給付の受給率									
成果指標名	老人クラブに加入している市民の数									

2. 成果指標

指標	成果指標名	単位	H22実績	H23計画	H23実績	H24計画	H25見込	H26見込	H27見込
	ボランティア登録者数	人	4,152	4,265	4,069	4,196	4,252	4,328	4,411
	指標設定の考え方と把握方法	地域で助け合う仕組みとして設定し、みよし市ボランティアセンター登録者数から把握。							
指標	成果指標名	単位	H22実績	H23計画	H23実績	H24計画	H25見込	H26見込	H27見込
	市内の障がい者施設利用者数	人	63	65	78	80	83	84	86
	指標設定の考え方と把握方法	施設サービスの利用状況として設定し、市内施設(しおみの丘など)の利用者数から把握。							
指標	成果指標名	単位	H22実績	H23計画	H23実績	H24計画	H25見込	H26見込	H27見込
	自立支援給付の受給率	%	11	11	10	11	11	11	11
	指標設定の考え方と把握方法	福祉サービスの利用状況として設定し、自立支援法に基づく、給付の受給から把握。							
指標	成果指標名	単位	H22実績	H23計画	H23実績	H24計画	H25見込	H26見込	H27見込
	老人クラブに加入している市民の数	人	3,660	3,750	3,682	3,960	4,095	4,230	4,365
	指標設定の考え方と把握方法	活動の中心的な役割を担う団体として設定し、社会福祉協議会データにて把握。							

3. 施策の評価

項目	評価のコメント				
施策の効果向上に向けての市民と行政の役割分担	市民	・支えあう意識の向上と、自発的な地域社会への参加を実践し、障がい特性を理解する。 ・高齢者の孤立化を防ぐため、地域での見守り体制を整える。			
	行政	・活動しやすい環境づくり、ボランティア育成や障がい者支援のための基盤整備を行う。 ・高齢者の社会参加、健康保持、人材確保、育成を行う。			
達成度評価	成果目標(指標計画値)と現状との比較	・ボランティア登録者が減少した理由は、スクールガードが活動は継続するものの未登録となったことによるため。登録の有無に関わらず、福祉・災害活動・防犯など幅広い活動が展開されており協働意識は高い。 ・市内障がい者施設の利用者は増加しているが、自立支援給付の受給率は同程度の水準。 ・老人クラブに加入する高齢者の数は、平成22年度3,660人、23年度3,682人でやや増加傾向。			
	近隣との比較	・ボランティア登録数は豊田市11,016人・日進市1,913人・東郷町854人。自立支援給付率は豊田市9%・日進市11%で、東郷町が10%で本市は平均値。施設利用者数は整備状況が異なり、比較は出来ない。 ・老人クラブ加入者数は豊田市31,209人(30.4%)、日進市は6,673人(47.6%)、東郷町は2,548人(35.0%)で日進市と同程度の水準(加入率)。			
	過去3年間の実績との比較	・ボランティア登録者数は増減があるが、災害支援への関心も高まり活動者は増加傾向にある。 ・施設利用者は15名の増、自立支援給付率は過去3年と同程度で10%を維持している。 ・老人クラブ加入者数は、過去3年間で113名ほど増加し、今後も増加が見込まれる。			
【優先度評価】 成果向上の余地、市長マニフェストとの結びつき、緊急度など	・マニフェストに、「民間による障がい者支援施設の整備支援」を提言。「さくらの丘」整備により、養護学校卒業生等の日中活動場所は確保されることとなったが、親亡きあとの生活支援施設が未整備のため、早急にケアホームやグループホームなどの整備が必要である。 ・高齢者福祉では、マニフェストに、「健康維持、介護予防のための拠点整備構想」が提言されており活動拠点の整備が望まれる。				
【総合評価】 今後の方向性、課題解決のための事務事業の見直しなど	・障がいのある人もない人も普通に暮らせる地域づくりを目指して設置した「みよし市自立支援協議会」を中心に、課題提起や取り組みに対する新たな提案、情報の共有化など、障がい者、事業所、行政間の協力支援体制の向上を図る。 ・高齢者の積極的な社会参加、生きがい対策の支援として「老人クラブ活動」、「なかよしサロン」「介護予防」事業など地域に密着した事業の継続が必要である。 ・市民アンケート(福祉対策)では、「重要・やや重要」と回答した人が89.0%、「満足・やや満足」と回答した人が52.7%で、重要度は高く、今後も継続して福祉サービスの充実を図っていくことが必要である。				
市民意識	重要度	高い	満足度	高い	平成23年度市民アンケート調査による